

主題名

わかり合うために

教材名

ブランコ乗りとピエロ（東京書籍）

内容項目

B-11『相互理解、寛容』

本単元で育成する資質・能力

思考・表現

協力・協働

## 1 令和8年1月28日（水） 第5校時

## 2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、各教科等の様々な学習を通して話し合い活動を行ってきた。友達の考えを聞き、自分の考えと比べたり、折り合いをつけながら物事を考えたりする姿も見られるようになってきた。道徳科の授業においても、自分の考えを伝えるだけでなく、友達の考えを基に自分の考えをより深めることができるようになってきている。日常生活において、下級生に対しては相手を尊重することができる児童も増えてきている。しかし、同学年の友達に対しては、自己中心的な言動からトラブルになることがある。相手にされたことだけを主張し、自分の言動だけが正しいと思い込み、相手のことを考えないで行動してしまっている。人はそれぞれ考え方が異なり、自分にも同様なことはなかったかと考えたり、相手から学んだりしていくことが大切である。他者と関わりながら謙虚な心を持ち、お互いに尊重しながら高め合おうとする心情を育てたい。
- 本主題は、学習指導要領道徳科の内容項目B-(11)「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」をもとに設定したものである。この段階においては、自分の考えや思いを相手に伝えるとともに、自分と異なる考えや思いを受け止め、相手への理解を深めることで、人間関係を深めていくことができるようになる。しかし、私たちは、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自分本位になりやすい弱さをもっている。自分自身が発展途上にあり、至らなさをもっていることなどを考え、自分を謙虚に見ることについて考えさせることが大切である。相手から学ぶ姿勢を常にもち、自分と異なる意見や立場を受けとめることや、広い心で相手の過ちを許す心情や態度は、多様な人間が共によりよく生き、創造的で建設的な社会をつくるために必要な資質・能力である。  
指導に当たっては、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさや、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして、謙虚な心や広い心で受け止めることの大切さを実感できるようにしていきたい。
- 本教材は、同じサーカス団の中で対立していたピエロとサムが、互いの考え方の違いを認め合い、サーカス団のために力を尽くそうという思いをもつという内容である。自分の考えが認められないことに対する二人の葛藤や怒りについて、児童は共感できると考える。「ピエロ」と「サム」それぞれの立場で考えさせるとともに、サーカス団のために必死に取り組むサムの姿に心を打たれたピエロの考え方の変化を捉えさせる中で、自分の過ちを謙虚に受け止め、サムの立場や考えを尊重した価値観について児童に気付かせる。そして、二人が互いを尊重し合うことで、考えを認め伝え合うことにつながり、更には、それがサーカス団の意識の向上につながったことを捉えさせる。最後に、ピエロやサムの姿と比較して自己の生き方を振り返らせることで、自分に対する謙虚さや他者を尊重する心をもって、考えを伝え合うことの大切さや難しさを自覚させる。

### 3 他の教育活動との関連

#### Load to leader プロジェクト

##### before

下級生に対して相手を尊重することができる児童が増えてきている一方で、トラブルが起きたときは、相手にされたことだけを主張し、自分の言動だけが正しいと思い込み、相手のことを考えないで行動に移すことがある。

##### アンケート

- ① 意見が合わず、自分の思い通りにいかない時、どうしていますか。

##### 事前活動

###### 【学級活動】Load to leader 目標設定

2か月後に学校を支えられるリーダーになるために、どのような自分になっておきたいか、また、そのために残りの期間で何ができるかを考え、発表する。

目標設定にとどまるのではなく、今の自分の課題や学年集団としての改善点についても話し合わせることで、目標設定をより明確にさせたい。

###### 【道徳科】教材名：「ブランコ乗りとピエロ」(本時)

互いの立場や思いを尊重し合った二人と自分の姿を比較することを通して、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考えを生み出そうとする心情を育てる。

内容項目：B-1 1 相互理解、寛容

##### 事後活動

###### 【学校行事】6年生ありがとう集会

学年全員で行事を作り上げていく中で、自分とは異なる考えや思いを受け止めながら活動するよさに気づき、相手を尊重する態度を育てていく。みんなでやりきる経験を通して、一体感や達成感を味わい、自己肯定感を高めていく。

###### 【道徳科】教材名「バトンをつなげ」

学校の一員としての自覚をもって、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくっていかうとする心情を育てる。

##### アンケート

- ② 意見が合わず、自分の思い通りにいかない時、どうしますか。
- ③ どのような6年生になりたいですか。

##### after

下級生だけでなくだれに対しても相手の立場になって気持ちを考えながら行動することができる。自分のことばかりを主張するのではなく、学校全体のことを考えて協力しながら活動することができる。

## 5 本時の学習

### (1) 本時のねらい

互いの立場や思いを尊重し合った二人の心情を考えることを通して、謙虚な心を持ち、広い心で異なる意見や立場を尊重し、共によりよい考えを生み出そうとする心情を育てる。

### (2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点(・) (☆評価の観点)
導入 (7分)  課題意識をもつ	1 アンケート結果やこれまでの経験から考えを出し合い、課題意識をもつ。	<p>○相手と考えが食い違った経験がありますか。また、そのときどうしましたか。</p> <p>【アンケートから】</p> <p>【経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩時間に何をして遊ぶか。</li> <li>・ありがとう集会で何をするか。</li> </ul> <p>【どうした】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を押し通した。</li> <li>・もめるのが嫌だから譲った。諦めた。</li> <li>・話し合った。</li> </ul>	<p>・アンケート結果や児童の経験を振り返り、相手の考えを受け入れたり分かり合ったりすることの難しさに気付かせ、めあてを設定する。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">お互いに分かり合うために大切なことは何だろう。</div>	
展開 (30分)	<p>2 教材「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う。</p> <p>3 サムの演技を見ているピエロの気持ちを考える。</p> <p>4 演技をしているサムの気持ちを考える。</p>	<p>○みなさんはこのお話を読んでどんなことを感じましたか。</p> <p>・最初は仲が悪かったけれど、最後には分かり合えてよかった。</p> <p>・サムのわがままを許せたピエロはすごいと思った。</p> <p>・自分だったら許せないと思う。</p> <p>○カーテンの間からサムの演技を見ているピエロはどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>・サムが憎い。</p> <p>・自分の時間がなくなってしまう。</p> <p>・自分だって大王の前で演技したい。</p> <p>・自分勝手に許せない。</p> <p>○大王の前で演技をしているサムはどんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>・自分が目立てるチャンスだ。</p> <p>・大王を喜ばせたい。</p> <p>・観客に楽しんでほしい。</p>	<p>・ピエロとサムの心情を板書し、対比させることで二人の立場や考えの違いが見えるようにする。</p>

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           学びを深める         </div>	<p>5 ピエロの行動に対して自分事として考える。 全体 (サークル対話)</p>	<p>◎サムのことを受け入れたピエロにあなたは共感できますか、できませんか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(共感できる)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サムも頑張って演技していたから。</li> <li>・怒っていても悪い雰囲気になるだけだから。</li> <li>・自分もサムと同じように目立ちたいという考えがあることに気づいたから。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>(共感できない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手したことを許せない。</li> <li>・注意しないと気づかない。</li> <li>・自分だけでなくサーカス団のみんなも怒っているから。</li> </ul> </div>	<p>・どちらの考えに近いのかを選択させ、黒板にネームプレートで立場を示す。その後、サークル対話で交流する中で、自分の考えを再構築できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピエロの行動に共感できないと感じる児童の気持ちに寄り添いながらも相手の考えを受け入れることの大切さに気付かせる。</li> </ul>
	<p>6 サムの心の変容を考える。</p>	<p>○ピエロの言葉を聞いて、サムはどのようなことを思ったでしょうか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にも悪いところがあった。</li> <li>・これからは、サーカス団のために態度を改めよう。</li> </ul> </div> <p>○お互いに分かり合うために大切なことは何でしょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の思いをしっかり聞くことで、分かり合うことができる。</li> <li>・相手だけを責めず、自分の足りないところにも目を向けるようにする。</li> </ul> </div>	<p>・サムの心の変容を考えたことを通して、分かり合うためには一方だけではなく、お互いが相手の考えを理解し、歩み寄ることが大切だということに気付かせる。</p> <p>☆お互いに分かり合うために大切なことに気付いている。(発言・ノート)</p>
<p>終末 (8分)</p>	<p>7 今回の学習を振り返る。</p>	<p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までは相手のことを考えずに自分の意見を押し通すこともあったので、友達の考えもしっかり聞いて分かり合えるようにしたい。</li> <li>・自分の思いばかりを考えていると、よい人間関係はつくれないことが分かった。</li> </ul> </div>	

## 6 板書計画

